

令和6年度

入善町立入善小学校

令和6年7月19日



# 学校だより

学校HP→



学校の教育目標 「じりつする子供の育成」

教室の様子をご覧ください。ほぼ毎日更新 <http://www.nyuzen-e.tym.ed.jp/>

## イニエスタは日本では育たない

校長 内山 真之

パリオリンピックが近づき、バレーボールやバスケットボールも盛り上がっています。バスケットボール男子Bリーグで初優勝した朝日町出身の上澤 俊喜選手（広島ドラゴンフライズ所属）が故郷に凱旋。同じく朝日町出身のベテラン荒尾 岳選手が、千葉ジェッツと再契約。サッカーでは、朝日町（TOHRI SC）出身の岡本将成選手が、幾度もの怪我を乗り越え、J2鹿児島ユナイテッドFCで中心選手として活躍されています。

先日、「入善町から、なぜプロスポーツで活躍する選手が生まれないのか」という話がありました。どうしてだろうと思っているところに、ある本のコピーが目に入りました。それが、「イニエスタは日本では育たない」の一文でした。「イニエスタのような才能を持った子供に出会ったが、その子はイニエスタのように育たなかった」という日本のスポーツ指導への問題提起でした。著者である小幡忠義氏は、このように言います。「ほとんどの指導者はね、自分がプレーヤーとして教えられてきたプレーを子供に押し付けている」と。このことは、学校教育にとっても実に耳の痛い言葉でもあるのです。

### 「分数のわり算は、ひっくり返してかければいい」

私たちの子供時代は、そう教えられました。その意味を考えるということはありませんでした。映画『おもひでぽろぽろ』（1991年スタジオジブリ）の中でも、小学生のタエ子は「分数のわり算」を考えて理解しようとしているのに対して、姉は計算手順を必死で覚えさせようとしています。

今の教育では、むしろ、その意味を考え、論理的に思考する子供を育もうとしているのです。「なぜだろう？」と思考した後で、計算の手順を身に付けなければならないのです。

私たちが教えられてきた方法で、これからの時代を生きていく子供たちを教えようとしていないだろうか。未来のイニエスタ選手の芽を摘んでいないだろうか。この夏休みに私たちもより一層の研修に取り組んでいきたいと思います。また、入善町からもスポーツ界で活躍する選手が生まれる日を期待しながら、この夏はパリオリンピック、特にパラリンピックを応援したいですね。

※アンドレス・イニエスタ サッカー選手。元スペイン代表。メッシ選手のような個人での突破力ではなく、創造性豊かなパス能力、卓越したボールコントロール技術、プレーの流れを読む能力で、周りの選手の存在能力を引き出す。謙虚、努力、感謝を大切にする人柄で人気。日本のヴィッセル神戸でもプレーした。6月に現所属クラブとの契約が満了。去就が注目されている。

## 6年西島優斗さん

### 6年男子 100m 走で全国大会出場へ

6月30日に開催された全国小学生陸上競技交流大会富山県大会にて、6年生の西島優斗さんが、100m走で1位となり、全国大会への出場が決まりました。

陸上競技での全国大会への出場は、入善小学校では記録がなく、おそらく入善小学校初の快挙です。全国大会は、9月22日に国立競技場で開催されます



## 学習参観・学年懇談会 7月4日（木）

1 学期最後の学習参観、そして学年懇談会でした。体育科の学習参観が4学級と、珍しく体育科が多い学習参観でした。お忙しい中、懇談会にも参加いただき、ありがとうございました。



1 年 国語「大きなかぶ」



2年A組体育「モンキーズ」



2年B組体育「マットパーク」



3年A組 国語「こそあど言葉」



3年B組理科「風とゴムのはたらき」



4年A組国語「俳句をつくろう」



4年B組国語科「俳句をつくろう」



5年家庭科「野菜の見える化測定会」



6年A組体育「ビーチボール」



6年B組体育「クラッシュボール」

### たてわり清掃を始めました

### たてわり（異学年）活動

「たてわり班」での異学年での活動を進めています。「たてわり給食」「たてわり遊び」に続いて、今年度から「たてわり掃除」を始めました。これは、社会と同じように「異年齢」での遊びや活動を通して、子供たちの社会性を育むことをねらいとしています。上級生の姿をモデルとし、よりよい成長に繋げたいものです。下級生の方が立派な姿を見せてくれることもよくあります。



### 地下道完成予定

### 自家用車の送迎は、今後も児童センター側の駐車場で

学校近くの地下道工事の完了予定が、8月29日となっています。始業式からは、「地下道を通る通学路」での登下校になります。1年生のお子さんは初めてだと思いますので、一度、お子さんと地下道を通る通学路をご確認ください。今後、学校前の車の交通量が多くなることが予想されます。

子供たちの安全のために、今後も自家用車で送迎は、現在の児童センター側からとします。乗り降りには、これからも児童センター側の駐車場をご利用ください。よろしくお願いします。